

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成28年 3月25日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ

団体名 建部町伝統芸能伝承保存会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施区域 (小学校区)	北区建部町 建部小学校区 竹枝小学校区 福渡小学校区
事業実施内容	※実施事業の概要をご記入ください。また事業実績を示す写真（2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 ○6, 7月 各保存会で実施準備会議 ○8月末頃より練習開始 ○10月各戸訪問しお祓いと演武 ○10月秋祭りイベント ○11月建部町文化祭で演武 ○2月めだかの学校の環境学習で披露  

事業目的とその達成状況と効果	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。
	ア 少子高齢化の中での事業の継続について 保存会の14団体とも新たな演者も多数誕生し10回以上にわたる練習を重ね、そして秋祭りと例年の行事を行うことができた。
	イ 今回、中途半端な把握ではあったが各保存会の練習状況や指導者、演者、そして費用を集計してみて、各村とも多くの人と費用をかけて伝統芸能を守ろうと努力していることがより鮮明になった。 特に、演者は250名を超え、指導者も50人位となっている。
	ウ 広報活動は、事業活動の体制が整うことと合わせながら少しずつ充実していければと考えるが、1つ発信のツールはできた。これは地元の有志によるホームページ「たけべ新聞」が立ち上がったことで、ここからの新たな発信ができるようになった。
	エ 伝統芸能の継続は、それぞれの村内での課題解決が一番であるが、この補助事業を続けていく中で保存会全体としてとして何ができるかを考えていきたい。 例えば、町内の各保存会それぞれの由緒ある歴史と伝統を守っている姿を 1冊の小冊子にまとめて、町内各家庭に配布するだけでなく、小学校でも総合学習の教材として活用し、地域の伝統を守ることの意義や大切さを学ぶ教材になるものができれと考える。
	オ ここ数年、岡山市のめだかの学校が小学生の親子を対象とした環境学習を多自枯鴨神社の境内を中心として行っており、この中で里山の大きな取り組みとしての秋祭りと地元の棒遣いの様子をCDで見せている。 しかし、今回は試みにCDではなく実際に棒を使って演じて見せたところ、この後、参加している男の子や女の子たちが面をかぶり、棒を持って他の子どもと打ち合ったり、親に写真を撮ってもらう、さらには、今まで見るだけで終わっていたお神輿を子供たちが持ち上げてみるなど思わぬ盛り上がりとなった。 そして、反省会でも多くの子供たちがこの2つの体験が非常に良かった、楽しかったと発表した。 ⇒こうしたことから見ても、特に町外の子供たちだけでなく、大人にとっては見せるだけでなく、触れさせる機会や参加させるとことが大切なことと思った。神輿の担ぎ手が足りない中で、最近、町に出ていて、お祭りに帰ってくる時にお祭り好き、神輿を担ぎたい人を一緒に引き連れてくる人も多くなっている。 獅子舞、棒遣いがここまで行かなくても良き理解者が増えて、地元の子供たちが誇りをもってやることの一助にもなっていけばと思う。

企画などの工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 <伝承活動> ○子どもたちの参加を促すよう、小さい子どもにも練習などに参加させて、早く自分もやりたいという気持ちにさせるような働き方を継続していくことを心がけている。 <広報活動> 町内への活動の周知徹底は十分に行っている。 課題は、町外への発信 事業活動の体制が整うことと合わせながら少しずつ充実していければと考えるが、1つ発信のツールはできた。 これは地元の有志によるホームページ「たけべ新聞」が立ち上がったことで、ここからの新たな発信ができるようになった。
次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 <伝承活動> ○保存会によっては、この前まで棒遣いもやっていたが、やれる人がいなくなって、今は神楽だけというところもある。もう一度復活できればいいが、これからさらにできないというところが増えないように、お互いに助け合い、知恵を絞って行く必要がある。 ○子どもたちの参加を促すよう、小さい子どもにも練習などに参加したくなるような雰囲気作りを心がけ、早く自分もやりたいという気持ちにさせるような働き方を継続していくことなど心がけている。 しかし、勉強優先であまり参加させたくない親も少なからずいる。 こうした活動が子供たちの成長にとっても大切なこと理解して協力してもらえるような働きかけの仕方も考えていく必要があると感じている。 ○他地域との交流なども進めていければと考えるが、一番は時期と費用が課題となる。 岡山の桃太郎まつりも同じであるが、建部町の秋祭りとぶつかってしまい、毎年呼びかけにも応えられていない。また、1回の演出でも保存会によっては30人を超えるため、多くの費用が掛かるため難しい面がある。 費用がかかってもそれを上回るだけの意義がある催しといったものができれば、無理をしても参加をとということになると思う。

事業実施者としての評価・感想など	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。 1 今年度も男女のちびっ子演者が多く誕生したが、このことは、住民の理解とともに常に指導者を育てていく仕組みができていなければできないことである。 2 この制度を導入するのは初めてであり、即成果が見えるようにできるとは思っていないが、こうした補助制度を導入することによって、地域内共通の課題に対してどう取り組んだらよいか、できることは何かを考える場ができたように思う。 3 各団体への費用補填は僅かではあるが、各団体がこれまでできなかった部分への継続的な投資として活用していければ、より先に繋がるものとなる。 それが物なのか人づくりなのか、どちらも欠かせないものでありこれからもう少し継続してみなければ見えそうにない。 4 何を行っていくにも資金的な裏付けがなければできない訳であり、半額補助であっても大いに役立つ。
------------------	---

■収 支 決 算 書

◆収 入

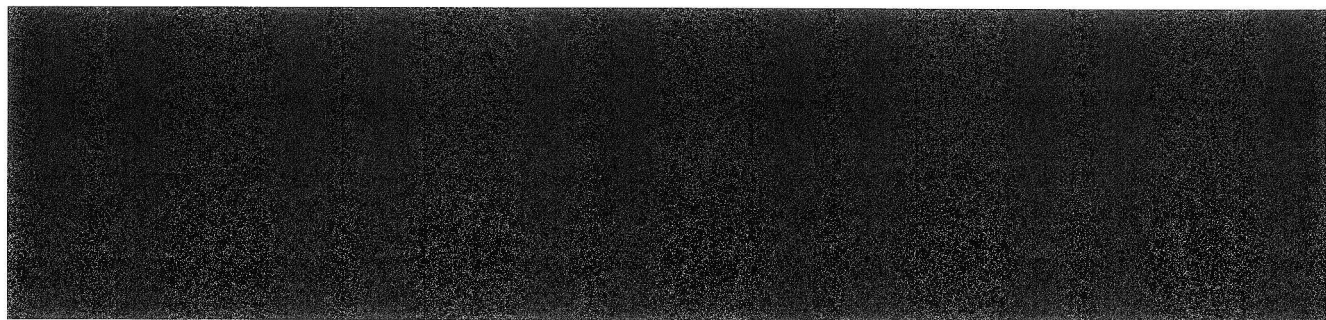
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	
負担金	130,000	130,000	13団体*10,000 円
追加負担金	0	5,200	13団体*400 円
参加費	4,800	106	
預金利息	0	25	
計	534,800	535,331	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	50,000	372,076	草鞋代、足袋代、太鼓パチ・ 鐘パチ円、リボン、その他
食糧費	64,800	54,035	お茶・ジュース等
燃料費	10,000	0	
通信運搬費	5,000	4,920	切手代
手数料	21,000	98,300	クリーニング代 (鉢巻、帯、 袴等)
使用料	88,000	3,300	公会堂使用料
原材料費	0	0	
報償費	270,000	0	
保険料	26,000	2,700	
計	534,800	535,331	



■事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
平成 27 年 3 月 30 日	岡山市区づくり推進事業助成申請書の送付
5 月 1 日	申請書に対する事前ヒアリング
5 月 8 日	総会に向けた役員会の開催
5 月 29 日	岡山市区づくり推進事業の事業決定通知を受ける
6 月 10 日	27 年度補助金等交付申請書の送付
6 月 27 日	総会
8 月末頃より	各保存会で練習に向けての事前打合せ
9 月より	本格的な練習開始
9 月 5 日	区づくり事業の推進に当たっての留意事項の送付
10 月秋祭り	各地で秋祭り
11 月	建部町文化センターに向けての棒遣いの練習
11 月 21 日	建部町文化センターで秋の文化祭で棒遣いの演武
12 月 12 日	1 月の臨時総会に向けての役員会
平成 28 年 1 月 4 日	区づくり事業実施状況確認表の送付
1 月 10 日	28 年度の区づくり事業への申請についての臨時総会
3 月 24 日	27 年度の実施報告書の送付